

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-101	小学校	家庭	家庭	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	家庭 503	新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる		

1 編修の基本方針

私がつくる みんなでつくる 明日をつくる

家庭科はあなたの生活をよりよく変えていく教科です。

家庭科では、子供たちが生活の中から課題を見つけ、多くの活動を通して、生活への科学的認識を深め、他者と協働して課題を解決できるようになることを重視しています。このことは、**生活を取り巻く環境が大きく変化した場合にも対応できる力**になります。

子供たちの**家庭科へのわくわく感**こそが、**主体的・対話的で深い学び**に向かう原動力です。本教科書は、子供たちのわくわくする気持ちを大切に、生活をよりよく工夫し**(私がつくる)**、家族や地域の人々と協力して**(みんなでつくる)**、豊かで楽しい家庭や地域の生活をつくっていく**(明日をつくる)** ことができる資質・能力を育むことを目指して編修しました。

特色 1

生活をよりよく変えていく力が身につく教科書

家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」で表現しました。窓から生活をのぞくと、自分の生活をよりよく変えていくヒントに気づくことができます。

生活を変えていく楽しさを知ると、もっと学びたくなります。

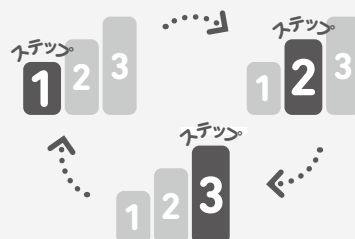


特色 2

3ステップで問題解決的な学習が展開できる教科書

大題材は3ステップで問題解決的に展開しています。3ステップをくり返すことで、主体的に生活する力を育成します。

大題材導入の「活動」では、QRコンテンツ*「トライシート」も活用できます。

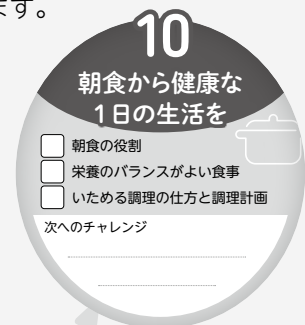


特色 3

実践的・体験的に楽しく学びながら、生活の自立を目指す教科書

それぞれの題材で行うたくさんの実習や活動を通して、何ができるようになるのか、見通しをもって楽しく学習できます。

「できた!」という達成感と自己肯定感は生活の自立につながります。



*二次元コードからWebに接続するデジタルコンテンツ

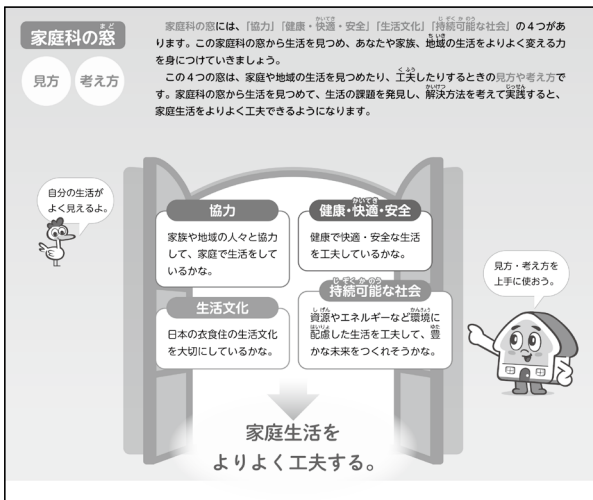
1 編修の基本方針

特色 1 生活をよりよく変えていく力が身につく教科書

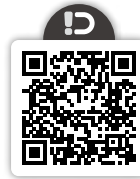
1 一目で分かる家庭科の見方・考え方

家庭科の見方・考え方(協力・健康・快適・安全、生活文化、持続可能な社会)を「家庭科の窓」として設定しています。「家庭科の窓」をガイダンスの折込や大題材の導入に示すことで、児童が生活についてこれらの見方・考え方を働かせながら考えられるように工夫しています。

また、見方・考え方のひとつである「持続可能な社会」については、「SDGs で作る私たちの未来」(p.43)で特集したり、実践例に関連させたりしています。



(▲p.3 家庭科の窓)



(▲p.43 QRコンテンツ「SDGsとは」)

SDGsで作る私たちの未来

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

今、私たちの身の回りにたくさん問題があります。その問題を解決するために、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) という世界共通の目標が定められています。その中の1つに、未来の世代にも美しい環境を残していく持続可能な社会づくりの観点もあります。この目標の達成に向け、たくさんの方がそれぞれの立場で活動しています。

家庭科で学んだことは、よりよい生活をつくり、持続可能な社会に向けての課題を自分の視点で見つけ、友達や周りの人々と協力・協働しながら、SDGsの実現という大きな目標を達成することにつながっていくでしょう。まずは自分から、今から行動していきましょう。

教科書にはSDGsにつながるポイントがいくつかあります。活用していきましょう。

生活文化の窓
・日本の衣食住を学ぶp.111
・アイディアを共有するp.117

健康・快適・安全の窓
・食生活を楽しむp.117
・水を大切に使うp.117
・地球環境を守るp.117

持続可能な社会の窓
・自然やエネルギーを大切に活用するp.105
・自然を利用するp.126

協力の窓
・物を大切に使うp.37
・協力を大切にするp.40
・家族を支える生活習慣p.42

教科書p.43
「SDGsとは」
活用していきましょう。

生活文化の窓
・日本の衣食住の生活文化を大切にしているかな。

健康・快適・安全の窓
・健康で快適・安全な生活を工夫しているかな。

持続可能な社会の窓
・自然やエネルギーなどを大切に活用し、持続可能な生活を工夫して、豊かな未来をつくれそうかな。

家庭生活をよりよく工夫する。

自分の生活がよくなるよ。

見方・考え方を上手に使うよ。

SDGsとは

上手な物の使いかたや使い方の学習を通して、自分らしく持続可能な暮らしの工夫が実践できますが、周りの人と健康を交流し、話し合ってください。

SDGs p.43

(▲p.43 SDGsで作る私たちの未来)

「にぎり」を作ったよ。

(具は左からウィンナー、こんぶのつくだ、ツナ、梅干し、しらす、しいたまご)

※調理や食会のときは、特に感染症対策に気を付けよう。

リンク p.8

地域のみなさんとのふれあいは、SDGsにもつながるね!

いろいろな具をのせたよ。

(▲p.134 生活を変えるチャンス! ③)

特色 2 3ステップで問題解決的な学習が展開できる教科書

1 全大題材が問題解決の流れ(ステップ1～3)で展開

(▼p.4-5 学習の進め方)

ステップ1:「見つめよう」

生活の中の課題を発見する小題材です。大きな写真やイラストを掲載し、イメージがふくらみやすいようにしました。「活動1」のQRコンテンツ「トライシート」では、思考ツールなどを活用できます。

ステップ2:「計画しよう・実践しよう」

課題を解決するために、実習などを通して基礎的・基本的な知識・技能を習得します。

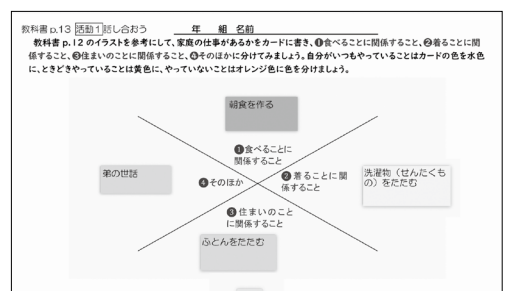
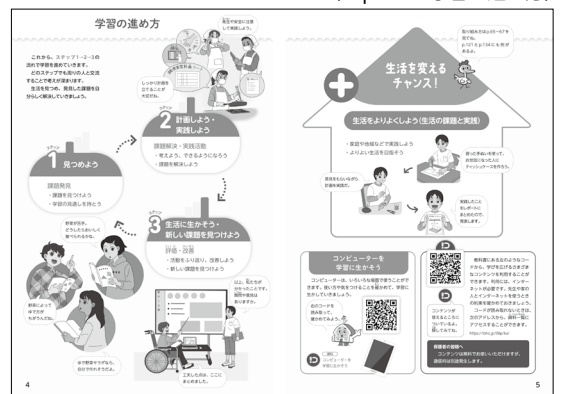
ステップ3:「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」

分かったことやできるようになったことをまとめ、話し合ったり発表したりしながら、これからの家庭生活に生かしていきます。

このステップの「活動」「深めよう」では、主体的・対話的で深い学びにつながる活動を行うことで、学習内容が確実に身につくようにしています。



トライシート
家庭の仕事調べ

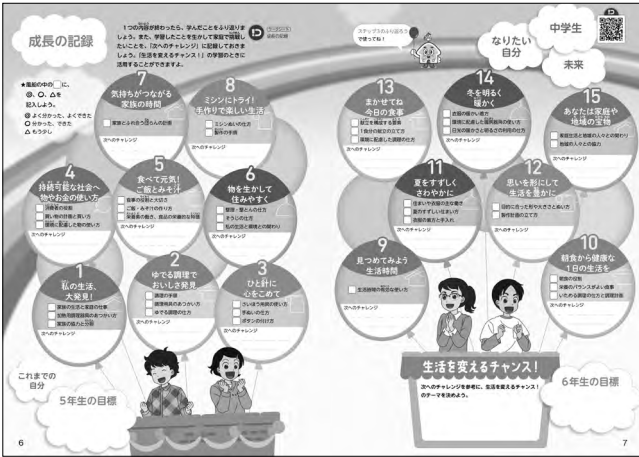


(▲p.13 トライシート)

2 自己肯定感を育む「成長の記録」「生活を変えるチャンス！」

巻頭の「成長の記録」は、各大題材の学習後に記入することで、2学年を通したポートフォリオとなります。自分自身の成長を実感し、自己肯定感を高めます。

また、家庭や地域の生活に関する課題解決を行う「生活を変えるチャンス！」を、取り組みやすい長期休業の時期に3箇所設定し、実践例を紹介しています。学校や地域の状況に応じて実践できます。



(▲p.6-7 成長の記録)



(▲p.66-67 生活を変えるチャンス! ①)

特色 3 実践的・体験的に楽しく学びながら、生活の自立を目指す教科書

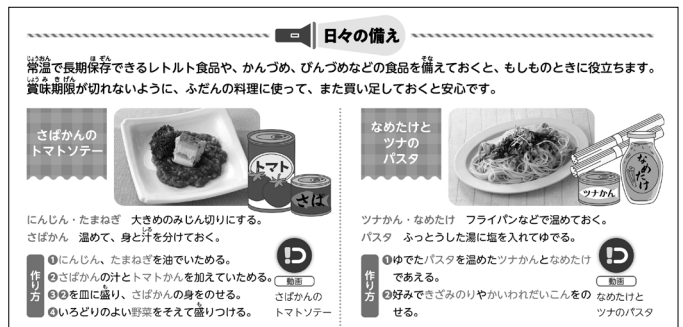
1 意欲を高め、取り組みやすい実習題材

実習題材は、児童の発達段階に十分配慮し、「作りたい!」「できた!」「使いたい!」「おいしい!」という楽しさを重視しつつ、**基礎的・基本的な知識・技能**の習得に資する題材を開発、掲載しました。災害への備えも意識し、**ローリング・ストック(缶詰など)**を利用した調理も取り上げています(p.119)。

実習は大きな紙面(A4判)を効果的に活用したデザインで、見通しをもって学習に取り組みます。二次元コードから見られるさまざまな動画は、実習前後の学習にも活用できます。



(◀p.88-89 いろいろいため)



(▲p.119 ローリング・ストック(缶詰など)を利用した調理)

2 必要なときにいつでも基礎・基本の確認「いつも確かめよう」

「いつも確かめよう」には、基礎的・基本的な知識や技能の大切なポイントをまとめています。巻末の拡大版には、初めて実習道具に触れるときの不安感を解消し、安全に実習をするため、**実物大の作業場面の写真を掲載**しています。実習前に紙面に手を載せて練習ができます。**左ききの写真も大きく掲載**しています。

二次元コードから見られる動画を確認することで、基礎技能を確実に習得できます。ふり返りや家庭学習にも活用できます。



(▲p.139 調理実習技能)

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
学習の進め方 成長の記録 衛生・安全に気をつけて 実習をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 全学習項目で問題解決的な学習が行える構成(1見つけよう→2計画しよう・実践しよう→3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう)にしました。(第1号) 学習をふり返って自分の成長を実感できる「成長の記録」を収載しました。(第2号) 衛生・安全に気をつけて実習を行えるように配慮事項をまとめ、実習例には安全マーク⁺を掲載しました。(第4号) 	p.4-5ほか全体 p.6-7 p.8-11ほか全体
生活を変えるチャンス!	<ul style="list-style-type: none"> 生活の課題解決に取り組む「生活を変えるチャンス!」を設けました。(第2号) 	p.65-67、121、134
実習題材	<ul style="list-style-type: none"> 達成感を感じられるように、取り組みやすい実習題材を採用しました。(第2号) 	p.22、32、46、48、74、76、88、90、106、108、118、119
プロに聞く!	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科に関連する職業の人を特集した「プロに聞く!」を収載しました。(第2号) 	p.27、42、52、61、101、111、120、127、132
活動	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動として、作品を友達どうしで評価したり、話し合いながら課題を解決したりする場面を設けました。(第3号) 	p.19、26、34、42、52、61、64、78、83、91、100ほか
地域とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々との関わりを大切に、感謝することの大切さが分かるように配慮しました。(第3号) 全国各地の児童が地域復興や防災に取り組んだ事例を掲載しました。(第3号) 	p.128-134 p.129、131
SDGsでつくる 私たちの未来	<ul style="list-style-type: none"> 生活の仕方を工夫し、持続可能な社会の構築を目指す特集ページを設けました。(第4号) 	p.43
環境マーク	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関わる内容にマーク^{環境}を付し、環境に配慮した生活について考える場面を設けました。(第4号) 	p.21、32、42、46、58、60ほか
日々の備え	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えるために日頃からできること「日々の備え[☑]」を掲載しました。(第4号)。 	p.34、47、56、119、132
日本の伝統マーク	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統に関わる内容にマーク^{伝統}を付し、日本茶、ご飯、みそ汁、伝統食品、郷土料理、てぬぐいなどを特集しました。(第5号) 	p.18、46、48、52、53、69、149ほか

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 すべての児童が使いやすい紙面への配慮

①ユニバーサルデザイン

- ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字を使用しています。
- 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、専門家による検証を行っています。
- 通学時の持ち運び等の負担を軽減するため、十分な強度を保ちつつ軽量化した再生紙を使用しています。

②特別支援教育への配慮

- 特別支援教育の研究者に専門的見地からの校閲を受け、できるだけ多くの児童にとって読みやすく使いやすい教科書となるよう、配慮をしています。
- すべての大題材の導入にステップ1~3のタイトルを並べて示し、学習の見通しが立てやすいように工夫しています。
- 初めての実習が安心して安全に行えるように、巻末に手を載せて練習できる実物大写真を掲載しています。
- QRコンテンツにつながる二次元コードは、紙面見開きの右ページ上部に固定して配置しています。
- 目的とするページを見つけやすくするため、右ページには大題材ごとのマークをインデックスにしています。

2

2 今日の課題への取り組み

③指導力向上への取り組み

- 大題材導入や実習例には、生活の課題を考えさせたり、押さえるべきポイントを児童に投げかけたりする吹き出しを掲載しています(p.20、32のキャラクターの吹き出しほか)。



私たちはどのような方法で食品を食べているのかな。どうすれば、いろいろな食品をおいしく食べられるのだろう。

④カリキュラム・マネジメント

- 5年生と6年生でできるだけ同時期に関連する内容を配置して、複式の年間指導計画が立てやすいように配慮しています(巻頭目次)。
- 15の大題材をユニット型で示して、学校や地域に応じたカリキュラムに組み替えやすいようにしています。
- 中学校家庭分野、他教科と関連する内容にはマークを付け、関連付けて学習できるように配慮しています。
- 小学校英語と関連して、家庭科に係る英単語を脚注に掲載し、次ページに日本語訳を示しています(p.13、15、17ほか)。



green tea



⑤道徳教育との関連

- ・道徳教育と関連する内容に他教科関連マークを付けて、児童の意識が高まるよう配慮しています(p.80、128ほか)。



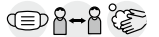
⑥防災教育への取り組み

- ・日頃の生活から防災に向けて気をつける内容に「日々の備え」のマークを付けて、児童の意識が高まるよう配慮しています(p.34、47ほか)。



⑦衛生・安全教育への取り組み

- ・いつでも確認、参照できるように、巻頭に実習時の病気の感染や食中毒などを防ぐための特集ページ「衛生・安全に気をつけて実習しよう」を掲載しています。
- ・感染症の予防について注意喚起を行う「うつらないうつさないために」を設けています。二次元コードから、基本的な感染症予防についてまとめたサイトを閲覧することができます。
- ・実習を安全に行うため、安全マークを付けて、注意を促しています(p.11、16、17ほか)。
- ・調理実習のページ下部には、感染防止、新しい生活様式への対応を掲載しています(p.22、46ほか)。
- ・食物アレルギーへの注意事項を掲載しています。(p.10、21、117ほか)



⑧食育への対応

- ・ユネスコ無形文化遺産である「和食の特徴」について取り上げたり、旬、食事のマナー、地産地消、日本の伝統的な郷土料理を取り上げたりしています(p.25、27、114、149ほか)。

⑨環境教育、SDGsへの取り組み

- ・家庭科の見方・考え方のひとつである「持続可能な社会の構築」を消費者教育と合わせて1つの大題材(第4大題材)として大きく扱いました。また、すべての大題材の必要な箇所には「環境」マークを付け、学習がESDやSDGsにつながるよう配慮しています(p.36-43)。
- ・家庭科の学びとSDGsとのつながりを、特集ページ「SDGsでつくる私たちの未来」に掲載しています(p.43)。
- ・持続可能な開発目標「SDGs」について、映像などをもとに学ぶことができる特設サイト「SDGs わたしたちがつくる未来」を設けています。



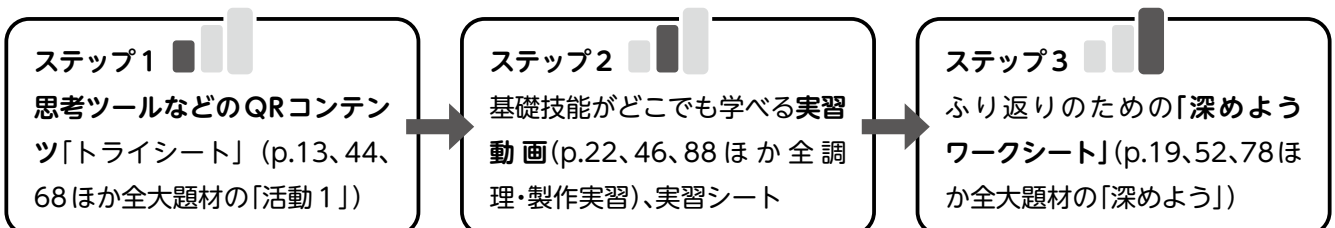
⑩キャリア教育への対応

- ・コラム「プロに聞く!」では、家庭科に関連する職業の人へのインタビュー記事を掲載し、仕事や生活への興味が高まるように工夫しています(p.27、52、61、101、120、127、132ほか)。



⑪情報教育・ICT活用への対応

- ・1人1台端末環境の実現に伴い、二次元コードからリンクする特設コンテンツとして「コンピューターを学習に生かそう」を設けています。自律した端末の使い手となれるよう、さまざまな場面での活用を促すとともに、情報モラルを含めた留意点についても楽しく学ぶことができるようにしています(p.5)。
- ・ICT機器の活用を促す吹き出しや活用場面のイラストなどを示しています(p.52、78ほか)。
- ・教科書紙面の学びを深め、児童の学習意欲を高めるQRコンテンツを豊富に用意しました。コンテンツが用意されている箇所にはQRマークを配しています。*QRコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- ・炊飯の学習と関連して、生活の中で活用されるプログラミングについての特集「くらしの中のプログラミング」を掲載しました(p.146-147)。
- ・QRコンテンツはステップに応じて活用できるように、次のような基本構成にしました。



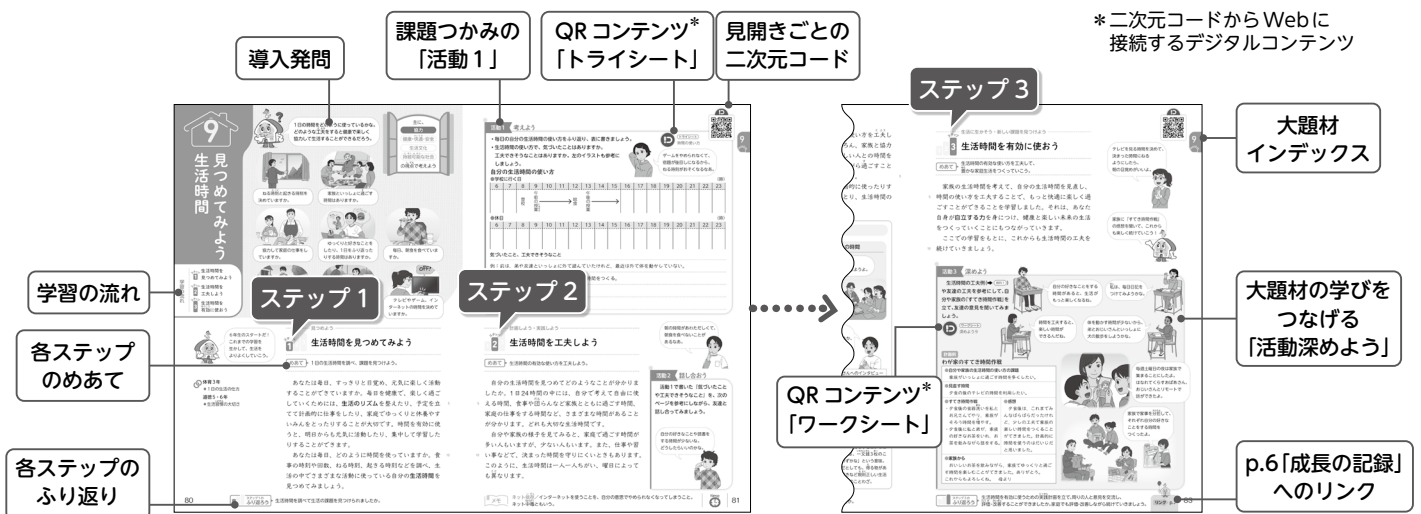
編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-101	小学校	家庭	家庭	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	家庭 503	新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる		

1 編修上特に意を用いた点や特色

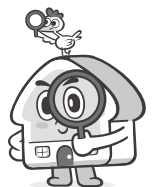
特色 1 生活をよりよく変えていく力が身につく教科書
 ～こうしたい! こうなりたい! 子供の思いや願いの実現につながります～



(▲p.80-83 基本構成の例)

1 家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」から生活を見つめます

- ①学習指導要領に示された家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、そこから生活を見つめて、自分の生活の課題を発見し、解決することができるように工夫しています。
- ②大題材の導入ページの右上に主たる見方・考え方を示し、大切な視点が一目で分かるようにしています。

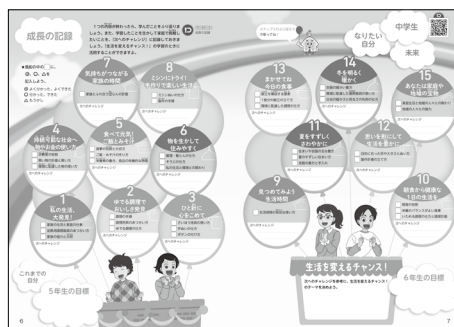


2 導入発問で意欲が高まり、学習の流れで学習の見通しが立てられます

- ①大題材の導入の導入発問を考えることで、学習意欲が高まります。
- ②学習の流れを確認することで見通しをもって主体的に学習を進めることができます。

3 巻頭に「成長の記録」、学年の最後に「まとめ」が設定されています

- ①大題材の学習が終わるごとに「成長の記録」に記入することで2学年を通したポートフォリオが完成します。ふり返り、自分の成長を実感することで自己肯定感が高まります。また、各学年の最後には「まとめ」のページを設定しました。学習のふり返りに活用できます。
- ②学習してできるようになったことや、次にやってみたいことをふり返りながら確認することによって、次への学習意欲が高まります。それぞれステップごとに「めあて」と「ふり返り」も設定されています。



(▲p.6-7 成長の記録)



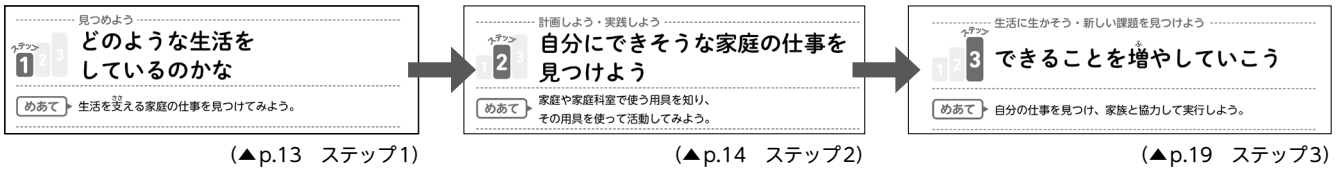
(▲p.19 ほか全大題材末からリンク)

特色 2

3ステップで問題解決的な学習が展開できる教科書 ～生活の課題を解決しながら、主体的・対話的で深い学びにつながります～

1 3ステップの問題解決型学習をくり返すことで主体的に生活する力が育ちます

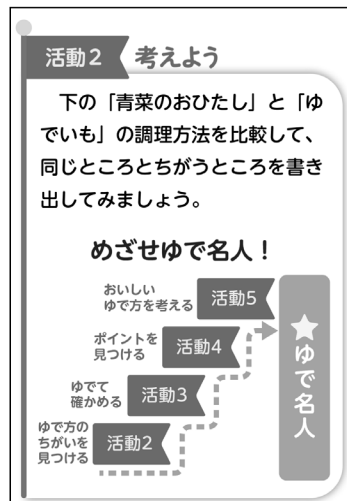
①家庭科の学習では、問題解決的な学習を通して、生活の課題を解決する能力を養うことが大切です。そのため、大題材は「1 見つめよう」→「2 計画しよう・実践しよう」→「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の、3ステップで展開しています。



②ステップ1では思考ツールなどを活用するトライシート、ステップ2では実習を円滑に進める基礎技能動画、ステップ3では学習をまとめるワークシートなど、それぞれの段階に適したQRコンテンツも活用できます。

2 児童の主体的・対話的で深い学びにつながる「活動」を工夫しています

①ステップ1と2には、児童が主に主体的・対話的に学習に取り組める「活動」を掲載しました。初めて調理に取り組む第2大題材では、活動の見通しがもてる図を示しています。



②ステップ3では、「活動 深めよう」で大題材全体の学びを生かして取り組む課題を設定しています。

活動4 深めよう
① 今まで学習したことを生かして、学校ではどのような寒さ対策ができるか、家庭科の窓の視点（見方・考え方）も使ってみんなで話し合ってみよう。
② ①をふまえて、下のイラストの部屋で生活している場合、どのような点を改善したらよいか、アドバイスをしてみましょう。どうすれば、冬の生活がもっと健康で快適になるでしょうか。

●ある冬の休日（午後2時）

14 深めよう

(▲p.22 活動 考えよう)

(▲p.127「活動 深めよう」)

3 学びを生活に生かす「生活を変えるチャンス！」を設定しています

①2学年間で1～2回実践する「家族・家庭生活についての課題と実践」は、「生活を変えるチャンス！」として、取り組みやすい長期休業の時期に3箇所設定しています（p.65-67、121、134）。それまでの学びを生かせる実践例を紹介しています。

②「生活を変えるチャンス！」では問題解決的な実践の進め方を示しています。特に初出の「生活を変えるチャンス！①」（p.65-67）では、まとめ方の具体例を示すなど、より丁寧に展開例を紹介しています。初めて取り組む児童でも家庭や地域で安心して

実践できます。

③「生活を変えるチャンス！」では、実践例のほかにも、児童が取り組みやすい課題例を豊富に掲載しています（p.67、121、134）。

生活の課題と実践
生活を変えるチャンス！①

実践の進め方

1 課題の設定
2 計画
3 実践
4 まとめ・発表
5 評価・活用

65

生活を変えるチャンス！①

家族の生活リズムを
わが家のエコプランを
立てよう

1 課題の設定
2 計画
3 実践
4 まとめ・発表
5 評価・活用

67

(▲p.65-67 生活を変えるチャンス！①)

特色 3

実践的・体験的に楽しく学びながら、生活の自立を目指す教科書 ～紙面とデジタルのよさを生かして、基礎技能の確実な習得につなげます～

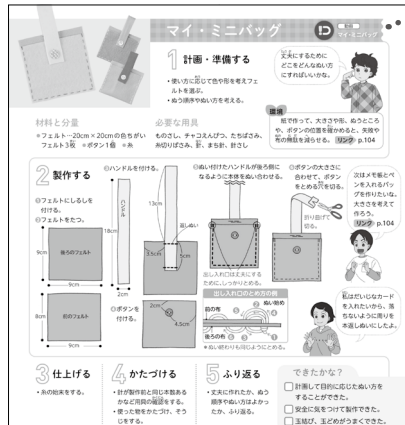
生活の自立への第一歩を踏み出す小学校の家庭科は、その後の中学校、高等学校の家庭科へとつながっていきます。生活に必要な基礎・基本を確実に習得し、実践的・体験的に、そして楽しく安全に学べるように紙面を工夫しました。

1 だれもが学びやすく、基礎・基本が確実に習得できます

①実習題材は、児童の発達段階に合わせて、取り組みやすい題材を扱い、イラストや写真を豊富に使って展開しました。手順の中では、児童に考えてほしいポイントはキャラクターの吹き出しで、押さえる基礎・基本は「できたかな?」の囲みで確認できるようにしています。調理実習や製作実習にはQRコンテンツを準備しており、紙面⇄デジタルの往還で基礎・基本が確実に習得できます。



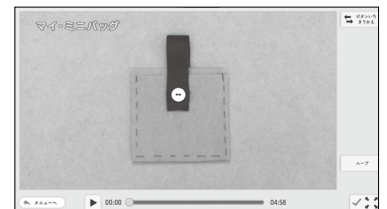
(▲p.48 みそ汁)



(▲p.32 マイ・ミニバッグ)



(▲p.33 二次元コード)

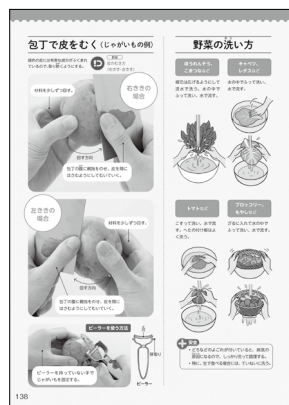


(▲マイ・ミニバッグ動画)

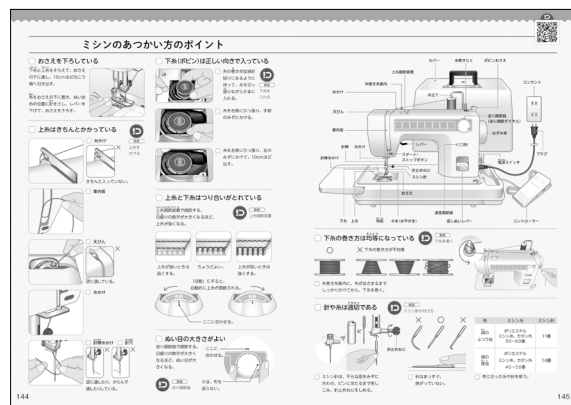
②生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を「いつも確かめよう」にまとめています。児童が必要なときにいつでも開いて確かめることができ、紙面とQRコンテンツでくり返し確認することで、知識や技能を確実に習得できます。巻末の「いつも確かめよう」(p.136～145)では、児童が実際に手を置いて練習できる実寸大写真を掲載したり、初めて触れることの多いミシンの扱い方についてA4判の紙面を生かして大きなイラストで丁寧に説明したりしています。また、個に応じて活用できるように、右きき・左ききの写真を掲載しています。



(▲p.88 実寸大写真)



(▲p.138 右きき・左ききの写真)



(▲p.144-145 ミシンのあつかい方のポイント)

2 「めあて」と「ふり返ろう」でステップごとに確認できます

- ①大題材を構成するステップ1～3のすべてに「めあて」と「ふり返ろう」を設定し、児童が確実にステップを踏んで学習が進められるようになっています。
- ②内容に関連する言葉の説明を「メモ」で紹介しています。

ネット依存／インターネットを使うことを、自分の意思でやめられなくなってしまうこと。ネット中毒ともいう。

(▲p.81)

観点別特色一覧

<p>教育基本法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食の特徴」や、「お茶」など、児童が伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました(全体)。 「持続可能な社会の構築」を消費者教育と合わせて第4大題材として大きく取り上げることで、環境や資源を大切にする態度を養えるようにしました(p.36-43)。
<p>学習指導要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小学校学習指導要領(家庭)に示された目標に則り、家庭科の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を行えるよう各大題材の導入に「家庭科の窓」を設置し、学習を始める前に意識できるようにしました(全体)。 小学校学習指導要領(総則)に示された、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を受けて、それらが実現できる活動を各所に収載しました(全体)。
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4年生までの学習を踏まえ、2学年の家庭科の学習の見通しを立てられるよう、巻頭ページに目次とガイダンスを設置しました。さらにガイダンスには、4年生までの学習内容と5年生から始まる家庭科の学習との関わりを示しました(表2、p.1-3)。 5年生と6年生の最後に「まとめ」のページを設定し、学年間・中学校への接続がスムーズになるように配慮しました(p.79、135)。
<p>学びの系統性・連続性、他教科との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に配慮し、実習題材を5年生、6年生に適切に配置しました。基礎的・基本的な知識や技能が別の題材でも生かされるように「いつも確かめよう」などで確認することができます(全体、p.8-11、16、33、40、56など)。 すべての大題材タイトル右上の定位置に家庭科の見方・考え方を示す「家庭科の窓」を設置し、学習するうえでの大事な視点が常に意識できるようにしました(全体)。 4年生までの学習をふくむ他教科の学習内容と家庭科の学習内容の関連、さらに、中学校技術・家庭との関連は、関連マークを付けて示しました(p.16、45、50、80ほか)。小学校英語と関連して家庭科に関係のある英単語とその日本語訳を脚注に掲載しました(p.13、15ほか)
<p>資質・能力の育成① 基礎的・基本的な知識や技能の定着への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能の定着のため、学習の目標と評価を重視し、すべての小題材の始めに「学習のめあて」、終わりに「ふり返ろう」を設け、こまめに学習をふり返り、学習内容が定着するようにしました(全体)。 家庭科の基礎・基本となる本文中の用語は、太字で目立つようにしました。(全体) 実習の最後の「できたかな？」で、知識・技能のポイントを自己評価できるように工夫しました(p.17、23、32、47、75ほか)。 基礎的・基本的な技能を押さえるために身につけたい技能を「いつも確かめよう」で示しました。単なる技能習得に終わらないように、実習とセットで扱い、実生活で生かせるように配慮しています。該当箇所だけでなく、開きやすい巻頭・巻末にもまとめて示しました(p.8-11、16、21、33、136-145ほか)。
<p>資質・能力の育成② 思考力・判断力・表現力の育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全ての大題材を3つのステップで展開し、問題解決的に進められるようにしました。くり返すことで定着し、実生活にも役立ちます(全体)。 各ステップに「活動」を設置し、さまざまな学習活動を通して児童の思考力・判断力・表現力が育成されるように配慮しました。大題材最後の活動はすべて「活動 深めよう」を設定し、その大題材で学んだことを総合的に生活に生かせるようにしました(全体)。
<p>資質・能力の育成③ 学び続けようとする態度の育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には「成長の記録」を掲載し、大題材が終わるたびに記入することで、2学年間のポートフォリオが完成するようにしました(p.6-7)。 学年末に「まとめ」のページを設定し、できるようになったことが実感でき、学習意欲が高まるように工夫しました(p.79、135ほか)。 すべての大題材の導入では、大きなイラストや写真で自分なりの課題が設定できます。また、学習の見通しが立てられるようなリード文や学習の流れを示し、児童が意欲をもって学習を続けられるように配慮しました(全体)。
<p>学習方法・授業展開への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各ステップには「やってみよう」「調べよう」「話し合おう」など活動の種類を適切に配置し、さまざまな活動に取り組めるように工夫しました(全体)。 本文に「話し合いましょう」「比べてみましょう」という投げかけを適度に入れ、具体的な学習方法や言語活動が見えるように配慮しました(全体)。

教育のICT化に伴う 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 思考力の伸長、知識・技能の定着のためのデジタルコンテンツを多数用意しました。思考ツールのコンテンツ、実習の基礎技能、実習ノート、まとめのワークシート、食品ずかんなど多様な種類を搭載しました(p.5、17、18、26、27、52、148ほか)。 身近な家電のプログラミングに気づくように「くらしの中のプログラミング」を掲載しました(p.146-147)。
人権・福祉への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 幼児や高齢者、障がいのある人々、外国から来た人との関わりを通して、共生の視点に気づくことができるように配慮しました(全体)。 多様性への理解を促すようにキャラクターやイラストに配慮しました(全体)。
特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな発達特性に配慮するため、本文と資料部分が明確に区別できるように、太い罫線を使う、背景に色を付けるなどの工夫をしました(全体)。 特別支援教育に有効な機能が充実した「学習者用デジタル教科書」を発行予定です(全体)。
ユニバーサルデザイン への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字を使用しました(全体)。 堅牢かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的な負担の軽減に努めました(全体)。 弱視の児童のために、「拡大教科書」および「学習者用デジタル教科書」を発行予定です(全体)。

配当 学年	時数	大題材名	関連する主な内容			該当 ページ
			ステップ①	ステップ②	ステップ③	
5年生	1	成長のふり返し、目次、 学習の進め方、巻頭資料	A(1)ア			表2、1-11
	3-5	1. 私の生活、大発見!	A(2)ア	A(2)アイ B(2)ア(イ)	A(2)イ	12-19
	5-7	2. ゆでる調理でおいしさ発見	B(2)ア(ア)	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)	B(2)イ	20-27
	8-10	3. ひと針に心をこめて	B(5)ア(イ)	B(4)ア(イ) B(5)ア(ア)(イ)	B(5)イ	28-35
	5-7	4. 持続可能な社会へ 物やお金の使い方	C(1)ア(ア)	C(1)ア(ア)(イ)イ(2)ア	C(2)アイ	36-43
	9-11	5. 食べて元気! ご飯とみそ汁	B(1)ア	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(オ) B(3)ア(ア)(イ)	B(2)イ	44-53
	6-8	6. 物を生かして住みやすく	B(6)ア(イ)	B(6)ア(イ)イ	B(6)イ C(2)アイ	54-61
	1-3	7. 気持ちがあつながら 家族の時間	A(3)ア(ア)	A(3)ア(ア)イ	A(3)イ	62-64
	2-4*	生活を変えるチャンス!①	A(4)ア			65-67
	10-12	8. ミシンにトライ! 手作り楽しい生活	B(5)ア(ア)(イ)	B(5)ア(ア)(イ)	B(5)イ	68-78
	1	5年生のまとめ	A(1)ア			79
	5年生: 計60時間		*生活を変えるチャンス!は5年生で1回を想定している。			
	6年生	1-3	9. 見つめてみよう 生活時間	A(2)ア	A(2)アイ	A(2)イ
9-11		10. 朝食から健康な1日の生活を	B(1)ア	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ) B(3)ア(ア)(イ)	B(1)イ(2)イ	84-91
7-9		11. 夏をすずしくさわやかに	B(6)ア(ア)	B(4)ア(ア)(イ) B(6)ア(ア)	B(4)イ B(6)イ	92-101
13-15		12. 思いを形にして 生活を豊かに	B(5)ア(ア)(イ)	B(5)ア(ア)(イ)イ	B(5)イ	102-111
9-11		13. まかせてね 今日の食事	B(3)ア(ウ)	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)イ C(1)ア(ア)(イ)イ C(2)アイ	B(1)イ B(3)イ C(2)イ	112-120
2-4*		生活を変えるチャンス!②	A(4)ア			121
6-7		14. 冬を明るく暖かく	B(6)ア(ア)	B(4)ア(ア) B(6)ア(ア)イ	B(4)イB(6)イ	122-127
1-3		15. あなたは家庭や地域の宝物	A(3)ア(イ)	A(3)ア(イ)イ	A(3)イ	128-133
2-4*		生活を変えるチャンス!③	A(4)ア			134
1		2年間のまとめ	A(1)ア			135
6年生: 計55時間		*生活を変えるチャンス!は6年生で1回を想定している。				
巻末資料		B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(5)ア(イ)			136-149	

*配当時数は、各内容を扱う際の最少時数を下限、最大時数を上限としています。

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-101	小学校	家庭	家庭	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	家庭 503	新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
39	資料4 いろいろな買い物	1	家庭 C(1)物や金銭の使い方と買物ア	0.25 ページ
39	インターネットでの買い物に注意しよう	1	家庭 C(1)物や金銭の使い方と買物ア	0.25 ページ
98	洗剤の種類	1	家庭 B(4)衣服の着用と手入れア	0.25 ページ
合計				0.75 ページ

(備考)

[類型]欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。

- 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容…… 1
- 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2